

# はじめに

～ 青少年健全育成と想像力 ～

『生徒の数だけ夢がある 夢の数だけ道がある』(蒲郡高等学校創立百周年記念碑より)

私はこの記念碑と出会って、碑に刻まれた銘文を胸に抱いて生活できる子ども・若者を思い浮かべました。これは蒲郡高等学校の総合学科としての基本理念としてのものですが、そこには青少年健全育成でめざす子どもの姿が見えてきました。青少年健全育成地域活動推進事業は、犯罪に染まらない、優しく思いやりのある子ども・若者の育成をめざしています。それは将来を想像して、希望に満ちて生きる子ども・若者を育てることだと思いません。そんな思いに立つとき、青少年健全育成は、まさに、この銘文を土台として成り立つのではないのでしょうか。私は本年度、こんな体験をしました。

ある中学校でのことです。生徒に挨拶する機会があり、三番目の挨拶でもありましたから、生徒たちは話に飽いてくるころだろうと思っていました。しかし、いざ登壇して生徒たちを前にすると「えっ！」と予想を覆されました。体中に視線を感じ、私が何を話すのか期待する表情が飛び込んできました。私を受け入れ集中して聴ける姿勢は、一言一言の言葉を大切にしている日常を物語っています。私は大きな大きな感動を得て、素晴らしい心踊る時を過ごすことができました。また、ある小学校の低学年の授業風景です。仲間の発表を表情豊かに聴いています。発表者の息の長い発言も、とっっても印象に残っています。仲間のお話を聴けることが、子どもの言葉を育て、子どもが自分の思い、考えを上手に表現して伝えていることを実感しました。低学年にしてこの姿、驚きを超えた感動でした。

この中学生、小学生に共通していることは、相手を思いやる想像力が育っていることではないのでしょうか。ある事象に遭遇して、対象が抱えるいくつかを想像できることは、思いやりという豊かな心を育て、自分の成長にとっても大切であるように思います。聴くこと話すことができない子ども・若者の生活は、今にも将来へも想像力がはたらいっていない状態と思われる。想像力には思考、判断、表現をとまいません。生活していくことは、まさに想像することであり、その結果、優しさや思いやりも形成されていくことです。横道にそれるのは、身近な人たちとの係わりの中で、ほんの少し想像することを忘れてしまっているか、想像することに慣れていないのだと思います。想像力の世界は、未来に続く明るい光を映し出してもくれるのです。これは、夢や希望であり、子ども・若者一人一人が進む道です。ぜひ想像力を育ててほしいものです。

現在、虐待、ネグレクトなど子ども・若者を取り巻く環境には厳しいものがあります。非行へと染まるのにも時間を要しません。今回の私の体験は、そんな環境を忘れさせてくれる子どもたちでした。しかし、酷くて悲しい現実の子どもがいることも事実で、手をさしのべ導いてやらなければなりません。今後も皆様方には、青少年の健全育成に温かいお力添えをお願い申し上げますとともに、青少年健全育成地域活動推進事業の更なる充実発展を心より祈念いたしまして結びといたします。

平成 25 年 2 月

蒲郡市教育長 廣 中 達 憲

# も く じ

## は じ め に

平成 24 年度 青少年健全育成地域活動推進事業 ----- 1

平成 24 年度 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動----- 2

1 大 塚 地 区 ----- 3

2 三 谷 地 区 ----- 7

3 蒲 郡 地 区 ----- 11

4 中 部 地 区 ----- 16

5 塩 津 地 区 ----- 20

6 形 原 地 区 ----- 27

7 西 浦 地 区 ----- 35

健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ ----- 41

補 導 員 活 動 ----- 42

平成 24 年度 地域安全・青少年健全育成市民大会 ----- 43

大 会 宣 言 ----- 44

小学生・中学生・高校生の意見発表 ----- 45

蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会の取組 ----- 58

## お わ り に